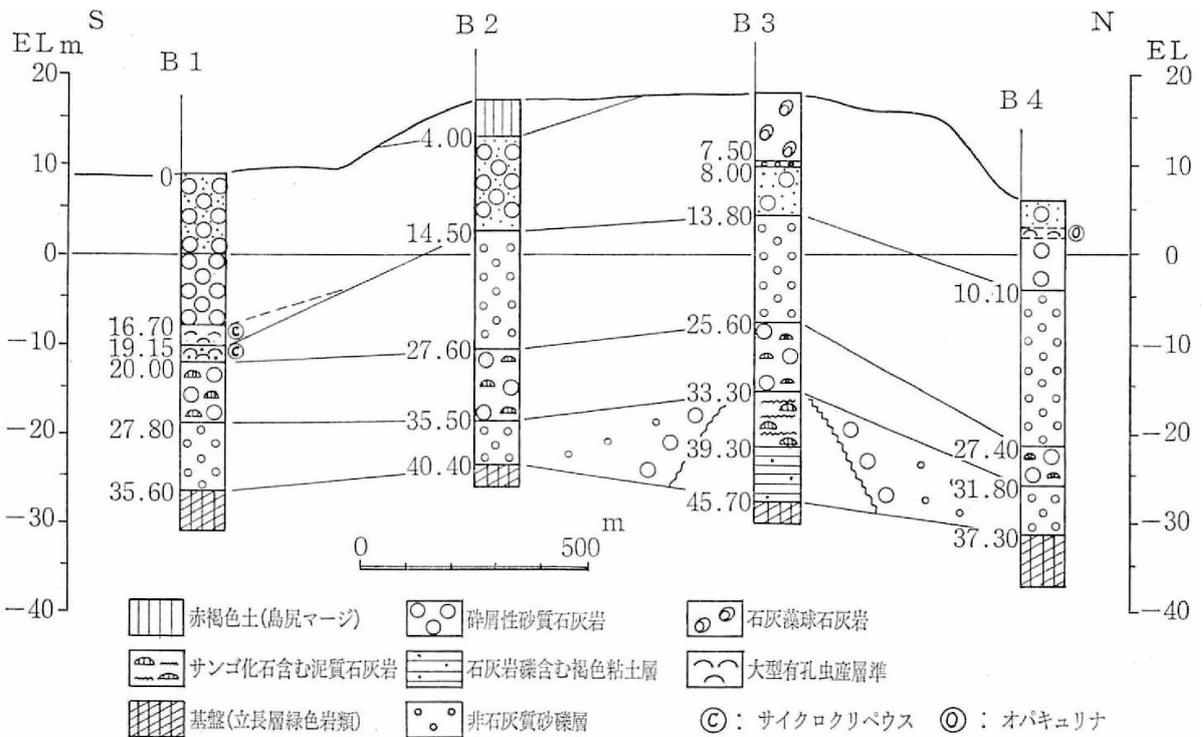


地形・地質

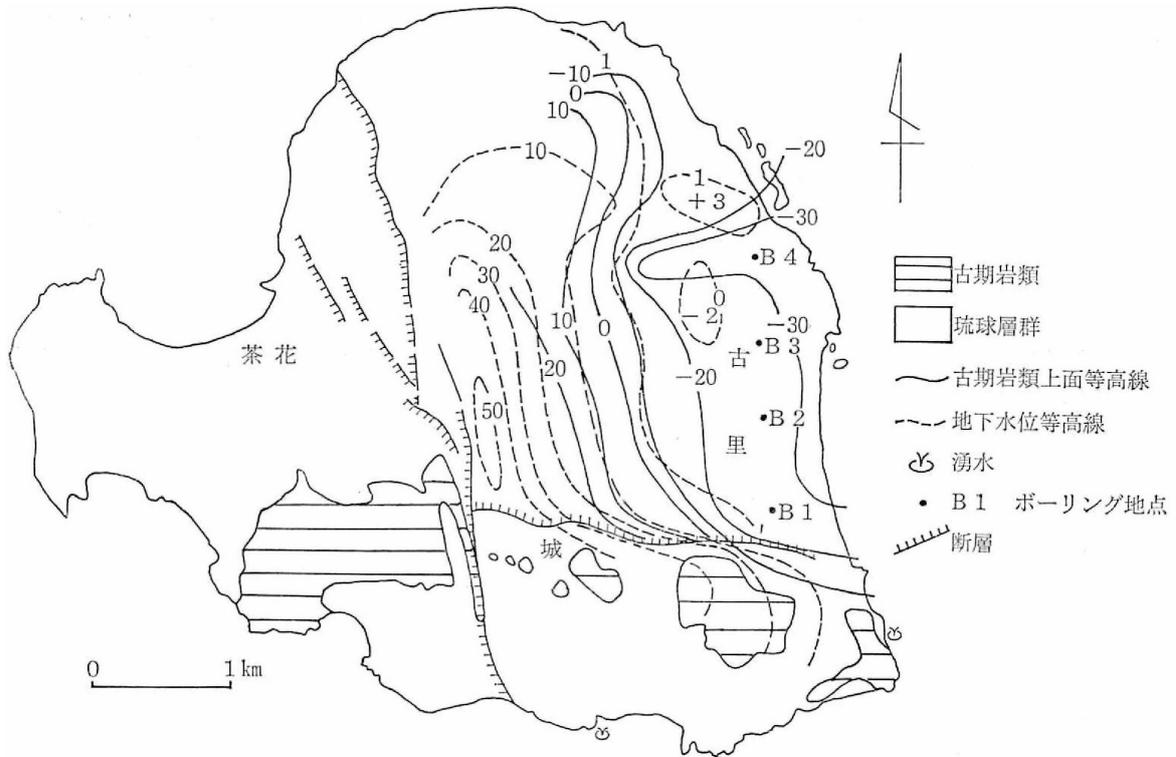
与論島は奄美諸島最南端に位置する総面積 20.8km<sup>2</sup> の島で、大部分が平坦地形です。島内は明瞭な 2 方向の断層系が認められます。地質は島の骨格をつくる古期岩類を覆って石灰岩を主とする琉球層群が発達します。



与論島の地質断面図

## 地下水

与論島の地下水は、古期岩類を不透水性基盤とし、この上の琉球層群が帯水層となっています。



与論島の水文地質図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

[https://jagh.jp/activities/groundwater\\_database/](https://jagh.jp/activities/groundwater_database/)（日本地下水学会）